

タイトル (活動概要)	18 なかよしあくしゅ	アプローチ (関連する力)	「仲間づくり」 ⑨ ⑩		
タイミング (実施時期)	学級開き等学級初期段階	活動場所	教室	所要時間	5分
対象学年	幼 ・ 小低 ・ 小中 ・ 小高 中1 ・ 中2 ・ 中3 ・ 高	対象規模	学級	活動場面	集会 朝の会
活動のねらい	<p><背景>群れ合い体験が不足していて、友達同士の交流が苦手である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大勢の友達に進んで声をかけ握手ゲームを楽しむことによって友達とふれ合う喜びや暖かさを感じる ・友だち同士でのあいさつが自然にできる 				
準備					
学 習 ・ 活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 大勢の人と握手をして仲良しになろう </div>					
2 主活動 ○やり方を知る ・自由に歩き、友達にあったら両手を後ろに隠す ・お互いに自分の出したい手を決める ・「セーノ」の合図に合わせて手を出し「こんにちは」とあいさつをする ・手が反対で握手ができなかったときには「またね。ばいばい。」といって別れ次の友達を探す ○握手ゲームをする		・担任と児童でモデルを見せ、ルールがわかるようにする ・友達と握手できたときの喜びや温かさに触れるようにする			
3 ふり返り ・握手ができたとき、できなかったときの気持ちを発表する					
配慮事項	・普段あまり話したことの少ない友達と行うように声をかけることによって友達を広げるようにする ・孤立傾向のある児童については、スムーズに活動に参加できるよう個別に支援する				

参考；諸富祥彦・尾高正造・土田雄一『『心のノート』とエンカウンターで進める道徳』（明治図書 2004年）